

家庭クラブについて

学校家庭クラブ活動とは、家庭科で学んだ知識や技術を生かして、学校生活や地域の生活に目を向け、課題を見いだし、問題点の改善や生活の充実に向上をめざして生徒が主体的に取り組み問題解決的な学習活動です。この活動は特別活動の部活動とは異なり、家庭科の教科としての活動です。授業で家庭科を学んでいる人全員が家庭クラブ員、履修が終わった人は準クラブ員です。

各ブロックの代表が、ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の研究発表を行う全国高等学校家庭クラブ研究発表大会や、各都道府県の代表が交流を行う全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座も毎年実施されています。

本校においても後期課程にて家庭クラブ活動をおこなっています。「創造・勤労・愛情・奉仕」の4つの精神を活動の柱とし、学校や地域の生活をよりよいものにしようと、様々な実践活動に取り組んでいます。シンボルマークは、マークの中心に学校家庭クラブ活動を表すFHJ (Future Homemakers of Japan) をロゴとして意匠し、周りを囲む四つ葉のクローバーは、「創造・勤労・愛情・奉仕」を表すとともに、自然と環境も表しています。「人と人とのふれあいを大切に、自然と共に生きる」活動への思いが込められています。

令和5年度の主な活動

5月	校内家庭クラブ総会
6月	徳島県高等学校家庭クラブ連盟代議員会(オンライン参加)
7月	徳島県高等学校家庭クラブ連盟総会(書面審議)
8月	徳島県高等学校家庭クラブ研究発表大会
9月	徳島県高等学校家庭クラブリーダー研修会 城ノ内祭展示・販売 「エンカル・チャレンジ」 中間発表パネル展示
10月	ユネスコ世界寺子屋運動の紹介
2月	地産地消の商品販売 各種コンクール・コンテストへの参加

【参加内容】

- ・みんなが健康！県産食材料レシピコンクール
- ・ジュニア料理選手権
- ・全国高等学校家庭クラブ連盟料理コンクール
- ・シーフード料理コンクール
- ・健康レシピコンテスト
- ・とくしまブランド de 簡単料理コンテスト
- ・「早寝早起き朝ごはん」呼びかけPOP

「めざせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト参加
ユネスコ世界寺子屋運動書きそんじハガキ回収

徳島県高等学校家庭クラブ研究発表大会

7月18日に、鳴門高等学校で家庭クラブの県大会が行われました。今年度はハイブリット開催となり、本校からは2名のクラブ員が参加しました。大会では、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の研究発表が各3校ずつありました。ホームプロジェクトの部では、小松島西高等学校の「手作りでの愛のあふれる防災リュック〜大切な人の命を守ろう〜」、学校家庭クラブ活動の部では、阿波西高等学校の「地域を想い、地域と共に豊かに生きる〜阿波ベジの魅力再発見！自分たちができること〜」が最優秀賞となり、四国ブロック高等学校家庭クラブ研究発表大会への出場が決まりました。他校の活動の様子を知ることができ、良い機会となりました。



徳島県高等学校家庭クラブ

リーダー研修会

8月21日に、鳴門教育大学で家庭クラブのリーダー研修会が行われました。7月の県大会に続き、久々の参加型研修と

なり、本校からは2名のクラブ員が参加しました。

はじめに、家庭クラブ指導者養成講座の報告があり、その後鳴門教育大学の坂本有芳教授による講義が行われました。「エンカル消費について考えよう」というテーマで、地球の現状について分かりやすく教えていただきました。世界中に多くのプラスチックが浮いており、特に「太平洋ごみベルト」と呼ばれる、海流によって非常に集まりやすい場所があるそうです。日本の国土の4倍の面積に、ジャンボジェット機500機分ものプラスチックが浮遊していることを知り、改めて持続可能な社会を作ることの大切さを感じました。

講義後はグループに分かれて、エンカル消費に関する取り組みを調べました。タブレットの都合もあり、十分な活動時間はありませんでしたが、他校の人と交流を持つことができ、充実した研修会となりました。

